

公共事業環境配慮書(案)

事業名称	
事業名	県営農村地域防災減災事業
整理番号	28-3
事業の種類	ため池の改修
市町村名	上田市
箇所名	(室賀地区)上田市上室賀
事業年度	平成28年度～平成33年度
事業概要	
目的	耐震性を有していないため池の耐震補強を行い、災害の未然防止による地域の防災安全度の向上と農業生産の維持及び農業経営の安定を図る。
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	ため池改修工 N=1箇所(大沢池)
関連する事業計画	特になし
その他特記事項	特になし
関係法令等の規制	
自然環境保全地域等の指定状況	なし
土地利用規制の状況	なし
その他	
社会的要素	
留意すべき地域の概況	
交通の現況	事業区域の東側に県道真田新田線が位置する 事業区域の北側に市道原組線が位置する
土地利用の現況	山地・丘陵である
生活関連施設の現況	周辺に住居はない
その他	特になし
自然的環境要素	
環境配慮の方針	
大気環境	留意すべき地域の概況 特になし
【大気汚染の防止】	
・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	
【騒音、振動の防止】	
・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。	
・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	
【悪臭の防止】	
・想定される影響はない。	
水環境	留意すべき地域の概況 河川・湖沼がある
【水質汚濁の防止】	
・水道水源、貴重な動植物分布地、取水地点及びすでに汚染が著しい地域等への排水を出来るだけ避ける。	
・沈砂池・沈澱池や濁水処理装置等を設置し、濁水や油脂類の排水を避ける。	
【水循環の保全】	
・水田や地下水・湧水を保全する。	
地形・地質	留意すべき地域の概況 山地である 丘陵である
【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。	
【改変面積の最小化】	
・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	
・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	
・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。	
・法面の勾配の検討、適切な崩壊防止工法の選定、排水工、緑化工等により、崩壊その他の危険性を防止する。	
野生動植物	留意すべき地域の概況 里山の地域である
【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	
【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な植物を生育適地へ移植する又は生育地を創出し移植する。	
・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。	
【動物の繁殖期における影響の低減】	
・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。	
【地域独自の生物多様性の保全】	
・想定される影響はない。	
【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
・自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。	

景観	留意すべき地域の概況	山地景観を形成している
	【すぐれた景観の保全】	
	・主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
	・アイドルストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
	【エネルギーの有効利用】	
日照障害・電波障害・光害	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【光害への配慮】	
・想定される影響はない		